



2018年(平成30年)

3月1日発行

発行者: 県立加茂高校 PTA

編集: 広報部

\*6ページは定時制のページです。

センター試験激励会

2年1組  
「今井めぐ」

私達誰もが能力を持っています。  
違うのはそれをどう使うかだ。  
スティーブンソン「才能をもつてく



## ご卒業おめでとうございます

普段あまりテレビを見ない人間ですが、「陸王」というドラマは総集編でみて大変感動しました。そして今春からの「半分、青い」もとても楽しみです。これはもちろん作者が当校卒業生という点でひいき目ではありますが、三年間晴らしさを知らなければ感じ方も違っていたでしょう。

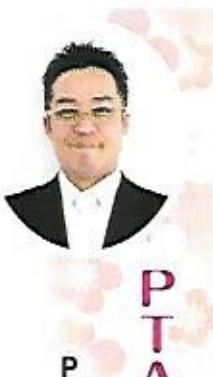
球技大会や文化祭でキラキラと眩しい姿と笑顔を見せてくれた君。部活動でたくましい精神力と悔し涙を見せた君。自分と戦い歯をくいしばり学んでいた君。それしかしその人のお陰で強く優しくなれていませんか?

そして無くてはならないのが心。一生懸命な気持ちや行動は大きな壁を超えて人を動かし突破するからになります。人を感動させられるのは計算されない無垢な心だと思います。君達はそれをもっているのです。それを見て感動した人間がここにいるのですから、確かです。

加茂高校という学び舎を卒業する君たちをずっと応援しています。

(副会長) 西瀬玉織

加茂高書祝



PTA活動を振り返つて

PTA会長 奥野 弘基

3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様のご卒業重ねておめでとうございます。

PTA役員としては一年間  
学校行事に関わらせていただだ  
きました。また私事ではあり  
ますが昭和の最後に加茂高を  
卒業してちょうど30年、そし  
て平成も終わろうとしている  
時期に会長を仰せつかったの  
も何かの縁であろうと感じず  
にはいられません。

一年を振り返り、学校行事やPTA各種大会、校内外会議等できる限り参加させていただけましたが、何より印象的なのは子どもも大人も加茂高に関わる全ての人が「いつも元気！」

特に生徒の皆さん 加茂高祭でのパワーには圧倒され、勉強も部活動も各行事においても常に全力をあげ姿には、こちらも大変刺激を受けました。

はPTA役員の皆様はじめ保護者の皆様に数多く参加協力をいただき、本当に和気藹々とした雰囲気で楽しく一年を過ごすことができました。

先ほども述べましたが今年ほど人との「縁」を感じた一年はありません。新しい縁再会の縁。生徒の皆さんも卒業しそれぞれの進路に向けて新しい縁を作られると思いますが、同級生や先生、後輩の皆様との加茂高の縁をしっかりと心の中に刻み活躍されることを願ってやみません。今年は加茂高創立70周年を迎える私も恩返しのつもりでまた新たな加茂高縁の輪を広げていきたいと思っています。

最後になりますがPTA活動にご理解とご支援、ご協力をいただきました保護者の皆様、先生方、地域の皆様、後援会・同窓会員の皆様方に厚くお礼申し上げます。

3年生の皆様、卒業おめでとう！三年間という、長くも短くもある時間をこの学舎で過ごし、今日の日を迎えた皆様にとって、加茂高はどのような存在になつてゐるのでしょうか。さつまでも忘れたくなつて、青春の舞台であつてほしくと願うばかりです。

人に親しみを持ち、愛をもつて人に奉仕する気持ちを持つとう！

いかがでしよう、改めてこのような形で文章にしてみると、その言わんとするところがしつかりと伝わってきます。

創立70年の節目を迎える本

本年度もMSリーダーは、生徒の安心安全で明るい学校生活のため様々なボランティア活動を行いました。恒例となつた学校周辺での挨拶、交通安全啓発運動を始めとして、加茂警察署・美濃加茂市との協力で実施した古井駅の清掃活動や新太田橋での交通安全啓発活動などは、生徒の学校生活の充実のために少しでも貢献できたと思われます。



校訓を心に刻んで

校長  
平野  
弘

M  
Sリードーズ  
活動報告

如臨萬物

深い意味を持った先人の智慧（ちえ）が、実に端的かつ的確に言い表されていると感じたのです。わかりやすく書き起こすとするならば、このようになるのでしょうか。

明るく朗らかに、新しいことは進んで取り組んでいこう！いつも誠実に一生懸命努力

保護者の皆様お子様の  
卒業おめでとうございました。  
また、これまで本校にお寄せ  
いただいた温かいご支援、ご  
協力に厚く御礼申し上げます。  
最後になりますが、卒業生諸君  
の将来に幸多からんことを  
願つて挨拶といたします。

そが加茂高生の心意気なのだと、卒業にあたって、君たちひとりひとりの心にぜひ刻んでほしいと思います。そして、この心意気を忘れずに、同じ心意気を持つ一生の仲間たちと語り合ひ、励まし合い、競い合って、君たち自身の豊かな人生を手にしてください。

生活の文化

の語彙

●

朝は早いからか海

たけど、多くの人

- 朝は早いからか通る人は少なかつたけど、多くの人が安全に自転車に乗っている姿が見られたので良かった。でも登校時間ぎりぎりに自転車で来る人は遅れるという意識が強くなつて安全などの意識が弱くなり事故を起こしやすくなると思うので、余裕を持って家を出るのも事故を無くすためには大切だと思った。



# 大学入試センター試験を終えて

ンター試験への取り組みをしていました。今年度の3年生も全員が特編授業に臨み、落ちついた環境でがんばってきました。「高校は勉強するところ」です。当たり前のことではありますが、それを最後まできちんと実践することは学生にとって大事なことだと考えます。間違った功利主義に走らず、しっかりと勉強してきた3年生の姿に大きな手応えを感じました。

さてセンター試験の結果（中間）  
焦土発表時点は、昨年度の平均点と比べて英語のリスニングと政治・経済で2点ほど、生物で7点近く下がった一方で、化学で約10点、地理Bは約8点、世界史Bなどもたたかれており、その他はおむね昨年度並みでした。全体の平均点に大きな変動ではなく科目間の格差も減ったことと予定どおりの出願をする受験生



とも昨年度と同様岐阜大学でした。センター試験割日の激励会では、校長をはじめ、3年学年会の先生全員からメッセージを伝えました。それぞれの先生がそれぞれの立場から心のこもった言葉で思いました。生徒たちは個性的でユーモラスな話に笑ったり、真剣なアドバイスに表情を引き締めたり、今後のこと想像して深く頷いたりしながら聞き入っていました。毎年のことですがすでに進路が決まっている生徒も、センター試験を受験しない生徒も同じ気持ちで真剣に集会に参加していました。本校ではセンター試験を大学入試の第一歩としてだけではなく、進学校として高校での勉強の集大成と位置付け、学年体制でセンター試験への取り組みをしてい

岐阜市内に宿泊して臨まるるを負担せん。ですがその不利を言い立てることなく元気に会場にやってきます。生徒には普段から「アウェーは受験の席」と言い聞かせてはいますが、少しでも有利に、と思つのも事実です。「ハンデなんかに負けんな」と心中で声援しながら会場へ送り出します。わがらん、これから的人生を考えれば、このくらいのこといくじけてもらつては困ります。たくあんしくなつて社会へ出て行くために加茂高での日々があつたはずです。生徒の背中を眺めながらさあざまなことを思い出しました。保護者の皆様とともに、彼ら若き社会人をこれからも見守り、応援していくつもりです。

今年度のセンター  
会員登録

当曰は2日間とも寒さは厳し

生が多くなりそうです。私立大学では文部科学省の定員遵守の指導のもと、合格者の絞り込みが行われており、出願数の増加が見込まれる一方で、合否ラインの読みにくさが指摘されています。

教育改革の大きな流れの中で、大学入試から授業のあり方まで、すべてが変わつていいこうとしています。センター試験も現行の方式で行われるのはあと2回です。とはいえたセンター試験が大学入試の始まりの砲であることは変わりませんし、私立大も国公立大もセンター試験からが本当の勝負なのも同じです。そしてやっぱり「高校は勉強するところ」です。この加茂高だよりが発行される頃、まだまだ「受験生」として頑張っている加茂高生がたくさんいます。

「最後までねばる」というのは簡単なことではありませんが、だからこそ価値があります。最後までやりきつて自分の進路を納得のいくものにしてほしいと思います。

＊「センターまであと2年もある。」そう思つてゐるのなら、今すぐその考えはなくした方がよいです。実際僕が1年のころは「センターは2年後だ」と思うどころか他人事のように感じていきました。センターで奇跡は起きません。絶対に。1年の模試で150点以上ない人はマジで焦りを感じた方がいいと思います。大学受験勉強はどんどんしんどくなります。1年生はまだまだこれからです。1回1回の授業を真剣に受け、分からぬところはすぐに先生に聞いてください。分からぬままにしておくと、3年生で受験勉強をしている時にまったく分からなくて困ると思います。まだ時間がたくさんあるので今全然勉強ができなくても間に合います。週末課題をしっかりとやり、授業の復習をしっかりやっていればきっと受験で成功します。

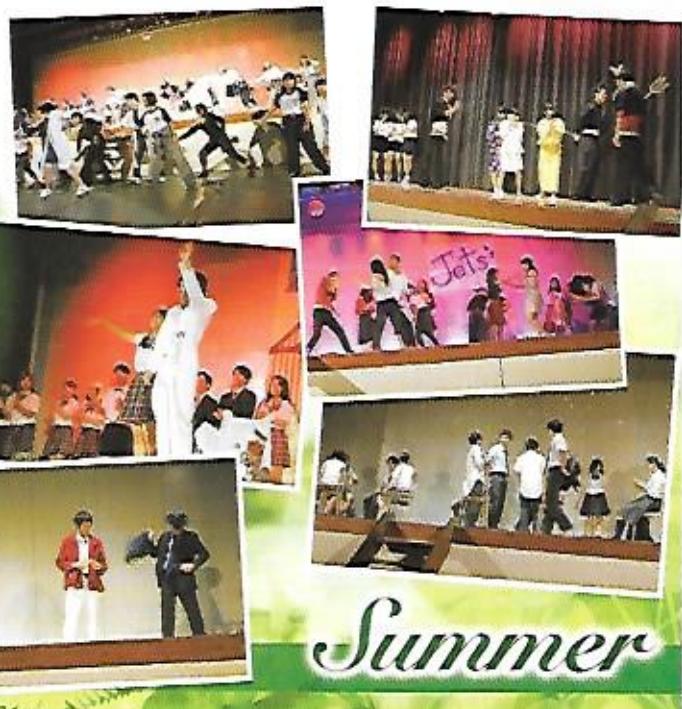
受験生の自覚がある人、まだ  
まだ少ないのではないかでしょ  
うか。私もそうでした。私も  
正直言えば夏休みが終わるま  
で自覚があまりありませんで  
した。自覚がなかつたからと  
いつて勉強していかなかつたわ  
けではありませんが、やはり  
他と比べると意識の差が行動  
の差を生むというわけで、実  
力が足りていよいのは明らか  
でした。そして10月を過ぎる  
と推薦で受かっていく人が出  
てきます。そこでようやく焦  
り始めたというわけです。あ  
せつて精神に負荷をかけろ、  
ということではなく、まず受  
験生としての自覚です。あな  
たは限られた募集人数の枠を  
勝ち取るために頑も名前も知  
らない全国の誰かさん達を相  
手に学力で勝負するのです。  
そして参加する誰もが受験の  
日までに身につけることので  
きた最高の学力を持って勝負  
するのです。さらに加えてあ  
なたが第1志望で受けるその  
大学、他の誰かにとつてはす  
べり止め程度の大学であるこ  
とだつて十分あります。そ  
んな中で勝ち抜くにはどうす  
べきか、まずはそこから考え  
ましよう。私が一年前から気  
付いていればよかつたと思う  
ことを書きました。

*Spring*

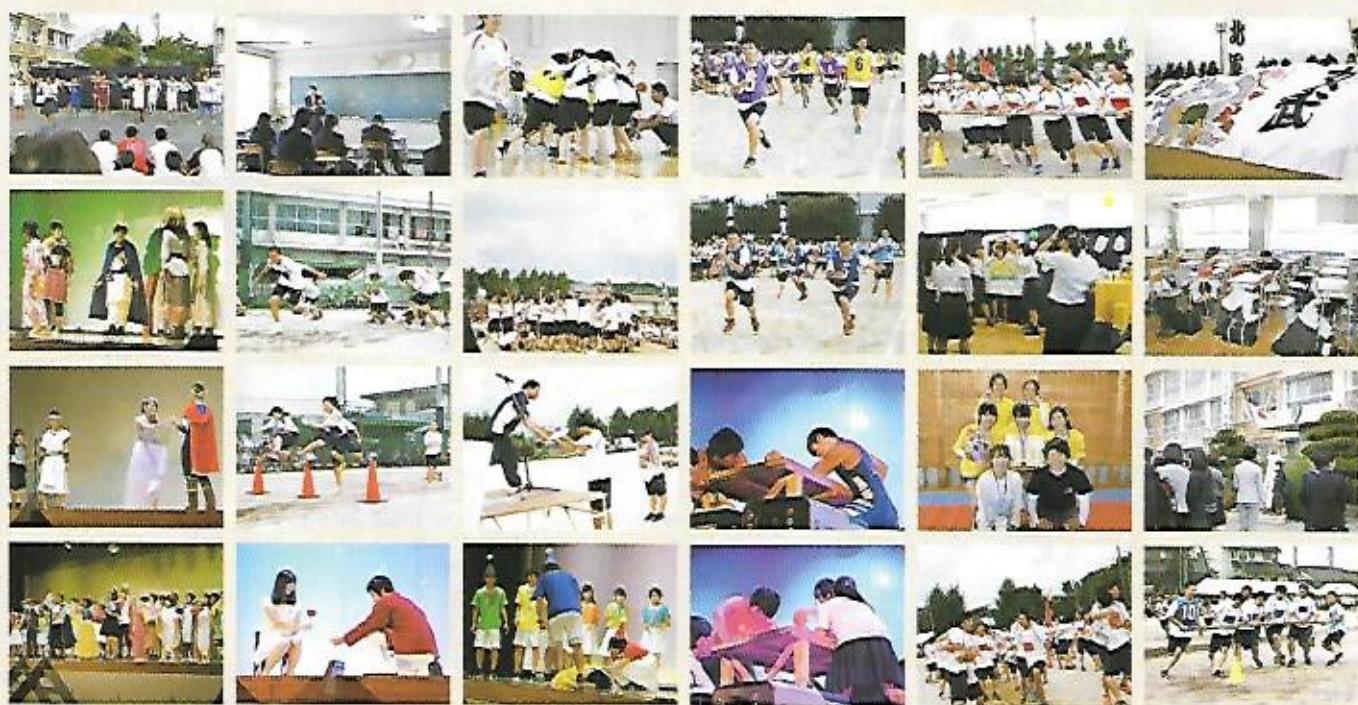


# 春夏秋冬

生徒会スローガン  
飛躍



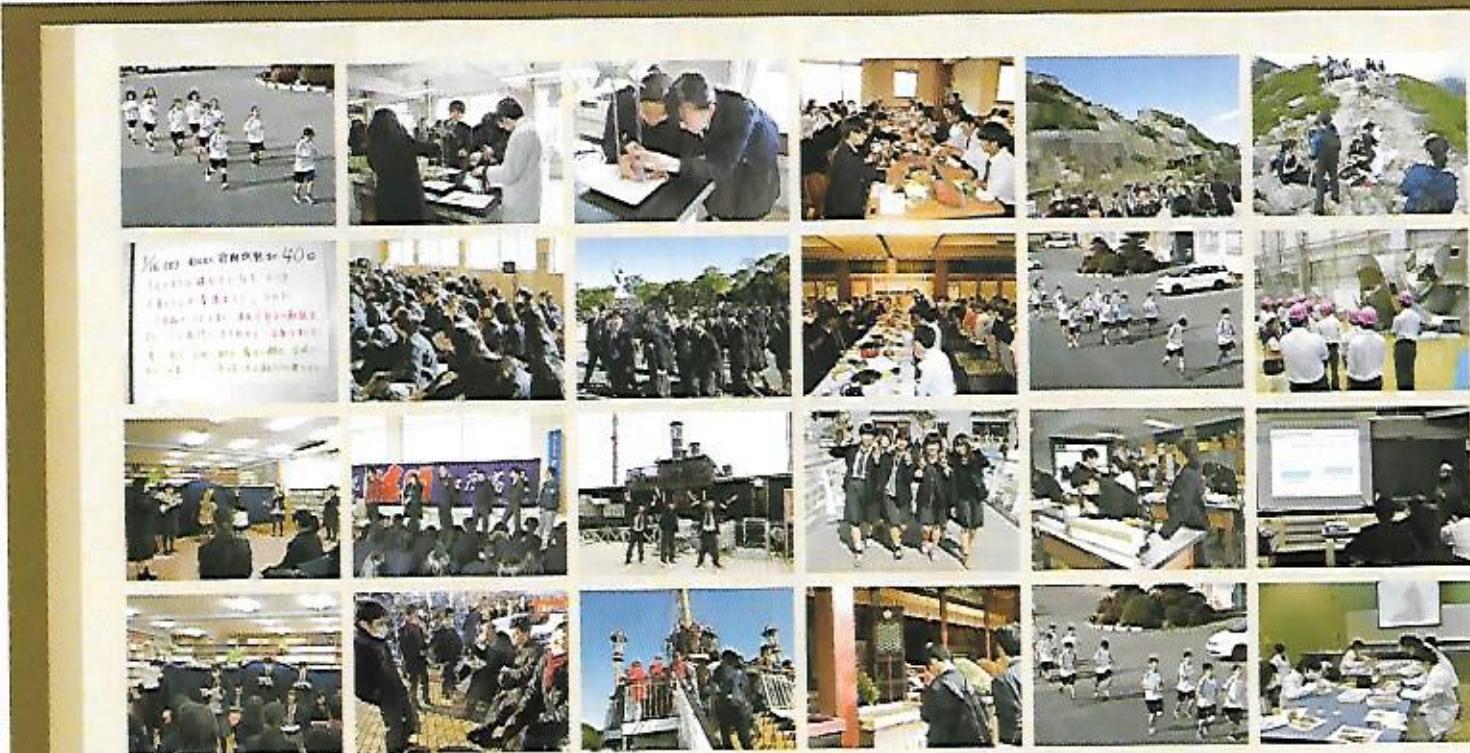
*Summer*



## *Autumn*



# 加茂高





部活動報告



# 2018信州総文祭出場(8月)3年連続

## 自然科学部 「腹ペコアリと満腹アリの行動学的研究」

県高校卓球新人大会地区ゾード決定戦		準優勝 3位	
男子団体	女子団体	全日本卓球選手権大会準々決勝(11-3)	▼バレー・ポール部(男子)
男子団体	女子団体	女子シングルス 1名	全日本高校バレー・ポール選手権
県高校新人卓球大会(11-19)	県高校新人卓球大会(11-19)	岐阜県代表決定戦(10-29)	1回戦 大垣工業(29)
男子団体	女子団体	地区交歓大会(12-10)	地区交歓大会(12-10)
男子団体	女子団体	本校×可児(武義)	本校×郡上北(武義)
男子団体	女子団体	本校×関有知(武義)	本校×加茂郡林(武義)
県新人戦地区予選	地区交歓大会(12-10)	2勝23 2敗25	2勝23 2敗25
県新人戦地区予選	決勝トーナメント(1-13)	2勝1敗 準決勝進出	25 14 11 25
県新人戦地区予選	3回戦(1-13)	2勝1敗 準決勝進出	23 11 11
県新人戦地区予選	4回戦(1-13)	2勝1敗 準決勝進出	25 14 11 25
県新人大会	県新人大会	ベスト16	1回戦敗退
1回戦 本校×長良	1回戦 本校×郡上北	1-2 1-2 1-2	2回戦敗退
県新人戦(1-28)	県新人戦(1-28)	0-2	準優勝 3位
73kg級 3品	73kg級 3品	0-2	準優勝 3位
出場	出場	3位	準優勝 3位
▼剣道部	▼柔道部	▼バレー・ポール部(女子)	▼バレー・ポール部(女子)
霞詠湖剣道大会(11-11)	県新人戦地区予選(11-11)	全日本高校バレー・ポール選手権	全日本高校バレー・ポール選手権
男子団体	男子団体	岐阜県代表選手権(10-28)	岐阜県代表選手権(10-28)
女子団体	女子団体	本校×各務原西	本校×各務原西
県新人戦(1-18)	県新人戦(1-18)	本校×吉城	本校×吉城
男子団体	男子団体	本校×本郷松陽	本校×本郷松陽
県新人戦(1-18)	県新人戦(1-18)	地区交歓大会(12-10)	地区交歓大会(12-10)
2回戦 本校×大垣工	2回戦 本校×大垣工	予選リーグ	予選リーグ
3回戦 本校×岐阜商	3回戦 本校×岐阜商	決勝トーナメント	決勝トーナメント
男子団体	男子団体	準決勝進出	準決勝進出
県新人戦(1-18)	県新人戦(1-18)	3位	3位
1勝6敗0分	1勝6敗0分	1勝6敗0分	1勝6敗0分
5勝2敗0分	5勝2敗0分	5勝2敗0分	5勝2敗0分
10	10	10	10

▼コラス部	県立連合コンサート会(11／11)
中部台ヶアセンジャー	ボランティア演奏会(12／12)
さくざー・カルアンサンブル	コンテスト(12／12)
コーラス部A	4年生
コーラス部B	中農合唱祭(2／18)
▼自然科学部	第25回県高校自然科学系部活動発表会(文系会)
ひまわりの家作業ボランティア(8月)	(11／3)
ディサービスセンター訪問(8月)	優秀賞
サイエンスキャッスル2017関西大会	(12／23)
「腹ペコアリと満腹アリの行動学的研究」	優秀賞
▼手話部	地区合同公演(11／11・12)
手話の学習	優秀賞
ひまわりの家作業ボランティア(8月)	(11／3)
「自分」の本当の言葉	1年3組
「少數派の生き方」	2年1組
「入選」	2年5組
「詠めない心」	長谷川達矢
「伝える」	1年4組
「戦争から学ぶたくさんのこと」	松田 幸裏
「天が来る病院へ命に向き合ふ」	2年3組
「子ども達が教えてくれたこと」	長谷川結香
「何かを変える言葉の力」	2年5組
【佳作】	安江 珠希
「私の新たな発見について」	2年6組
「六度目の不毛な大里切滅」	熊谷 春花
「世界地図の下書き」を読んで	2年3組
「理想と実現」	貝川 太志
【平成29年度潮流の国をぶ・おすすめの1冊コンクール】	2年4組
イラストPOP部門	3年9組
要助賞	奥村 悠生
イラストPOP部門	館林 佑樹
要助賞	金子 冬至

## 活躍するボート部

世界ジュニア選手権に出場して  
3年 西田 結惟

U19世界ジュニア選手権大会  
リトアニア (8月)

西田結惟選手  
日本代表として出場



西田選手 (左側)  
結果 11位

ボート部は部員66名(3年生)で活動。主な活動場所は飛騨川・木曽川の合流地点(小山)で、実践練習、筋トレ、エルゴなど厳しいトレーニングに励んでいます。

### 成績結果

☆U19世界ジュニア選手権大会  
(リトアニア) (8月)

ダブルスカル

西田 結惟

11位

☆全国高校選抜大会 3 / 20

(静岡県大竜潭艇場)

女子舵手付きクオドルブル

(野中、西田、市田、測上、鈴木)

優勝

☆全国高校総体 7 / 30 ~ 8 / 7

(宮城県農沼ボート場)

女子舵手付きクオドルブル

(野中、測上、市田、鈴木、日比野)

優勝

☆国体 10 / 9

(宮城県農沼ボート場)

少年男子舵手付きクオドルブル

岐阜選抜 (井野口、馬渕、百瀬)

8位入賞

私はU19日本代表として、リトアニアで開催された世界ジュニア選手権大会に出場しました。世界の同世代の選手達とレースをし、とても有意義な時間を過ごすことができました。

私はダブルスカルという種目に出場しました。12位以上を目指とし、一つ上の先輩と合宿を重ねました。結果は11位と目標を達成することができましたが、10位とは0.6秒、9位とは0.65秒差で、1秒の重さを感じとても悔しかったです。世界で戦うことができるという自信と、さらに上を目指すための課題を知ることができ、練習に対するモチベーションが上がりました。



世界大会に出席し目標を達成することにつながったのも、ボート部の顧問の先生方、加茂高校の先生方、学外や他県の指導してくださった先生方の御協力、友人からの声援があつたからです。携わっていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、より上の順位を目指して取り組みたいと思います。

本当にありがとうございました。

## 修学旅行

若干のトラブルはあったものの、学校を離れた研修で生徒たちは校内では得られない多くのもの学んだ4日間であった。

長崎市内班行動では、自分にとつて知らない場所の計画をたてることがすごく大変だった

週間に台風21号が通過し、また

出発直前に台風22号が東海地方に接近するなど、2週続きた台風で出発が心配された。

沖縄県に大雨をもたらした台風22号は30日0時には三陸沖で温帯低気圧にかかり、出発予定の数時間前には、何事もなかつたかのように好天に恵まれた。

荷物の前日発送が行えなかつたため、例年よりもやや早い時間から行動し、学校に到着した生徒から大きな荷物をトラックに積み込んでの出発となつた。行き先は、前年度に引き続いて九州北部地方であり、名古屋駅から新幹線での移動であつた。

修学旅行は次の3つを大きな目

的としている。

●平和の尊さを感じ、戦争と平和について考える。

●九州の文化・自然に触れる

ことにより見聞を広める。

●学校を離れた生活環境の中で規則正しい生活を送るとともに、生徒同士の相互理解と友情を深める。



### 主な行程

第1日 (10月30日)

学校 → 名古屋駅 → 小倉駅 → 門司

港レトロ地区 → 吉野ヶ里遺跡公園 → 川上峠 (ホテル)

第2日 (10月31日)

川上峠 (ホテル) → 平和祈念像

→ 原爆資料館・被爆者説話 → 長崎市内班別研修・ホテル

第3日 (11月1日)

ホテル → 希望者別研修 (軍艦島)

他) → ハウステンボス → ホテル

第4日 (11月2日)

ホテル → 太宰府天満宮 → 博多駅

→ 名古屋駅 → 美濃加茂SA

### 締集後記

この一年はどんな年でしたか?

子ども達は、勉強・部活・学

校行事等の中で、満足感・充実

感・時には失望感・焦燥感を味

わうこともありますでしょう。ア

ラスの感情は勿論マイナスも、

そこから何かを学ぶことによっ

て、子ども達を大きな人間にす

ることだと思います。そして、年

を重ねるほどに幸せを感じる、

そんな人生になることを願つて

います。

子どもを通じて、親である自

分も高校生活をやり直している

気がする時があります。広報委

員の皆さんと共に、子ども達の

学校での様子を見ることがで

きました、皆さまの温かい見守りに感謝致します。

(2年生年長 萩木いづみ)